



クレヨンはいつできたの

クレヨンの始まりはフランスから

1800年代の終わりころ、フランスの画家が考案したものを、コンテ社が作って売り出したのが始まりといわれています。

日本には、1917年に輸入され、1921年に桜商会という会社が作り、売り出したのが始まりです。

大正時代に、クレヨンを小学校の低学年に使わせると、とても良いという運動が起こり全国に広まっていきました。

かたくて細い線がかけるクレヨン

絵の道具として、クレヨンは広く使われています。クレヨンは、顔料という色の粉をろうでねって、細長いぼうの形にかためて作られます。

クレヨンはかたいので、細い線や、細かいものでもかくことができます。

クレヨンとクレパス

クレヨンは重ねぬりができませんが、クレパスは、顔料を油でねって作ってあるため、クレヨンにくらべて柔らかく、重ねぬりができるのです。（監修 小川 格）

